新人看護師からのメッセージ

最初は、点滴などの看護技術が自分にできるのか不安でいっぱいでしたが、自信を持ってできるようになるまで先輩看護師の心強いサポートを受けながら、看護技術を身につけていきました。また、患者とコミュニケーションを図ることが得意ではなく、患者との関わり方にも悩んでいました。先輩看護師から、患者とコミュニケーションをとるときに、自分自身のことをまず知ってもらうことも良いのではないかというアドバイスをもらい、少しずつ患者との会話が増えていきました。患者から名前を覚えてもらえ、時には「ありがとう」と言われるようになりました。患者と日々関わることで、人柄や生活背景、患者の望みや抱えている不安なども少しずつ理解できるようになりました。まだまだ未熟で失敗することもある中で、プリセプターや実地指導者をはじめ先輩方にフォローしてもらいながら、日々頑張っています。愛生園では患者一人ひとりの思いを尊重し、個別性のある看護を実践しています。私も長島愛生園の看護師として働けて良かったと思っています。

（新人看護師１年目　病棟勤務）